

## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月9日

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所 東  
コード番号 9438 URL https://ir.mti.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前多 俊宏  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松本 博 (TEL) 03-5333-6323  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 2024年6月14日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け(オンデマンド配信))  
(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年9月期第2四半期	13,517	△0.8	1,052	—	1,518	711.3	1,683	—
2023年9月期第2四半期	13,631	5.1	△18	—	187	△36.1	△326	—

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 1,774百万円(—％) 2023年9月期第2四半期 △391百万円(—％)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	30.68	30.68
2023年9月期第2四半期	△5.95	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年9月期第2四半期	29,274	18,804	51.6
2023年9月期	29,155	17,583	47.9

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 15,097百万円 2023年9月期 13,953百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2024年9月期	—	8.00			
2024年9月期(予想)			—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	27,000	0.8	1,800	503.2	2,250	390.8	1,750	132.3	31.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年9月期2Q	61,269,900株	2023年9月期	61,264,600株
2024年9月期2Q	6,358,273株	2023年9月期	6,405,973株
2024年9月期2Q	54,869,083株	2023年9月期2Q	54,820,844株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

証券アナリスト・機関投資家向けの当第2四半期決算説明会説明は、オンデマンド配信の形式で行います。動画および説明会資料は、2024年5月10日(金)15時以降に当社IRサイトへ掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 2024年9月期 第2四半期の概況 (2023年10月1日～2024年3月31日)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るべく、今後の業績拡大が期待できるヘルスケア事業および学校DX事業に積極的に取り組んでいます。

売上高については、前年同期に連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおいてスポット計上した動画販売の反動がありましたが、ヘルスケア事業や法人向けDX支援事業における売上伸長があり、13,517百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

売上総利益については、前年同期に同社においてスポット計上した動画仕入の反動があるとともに、法人向けDX支援事業の赤字案件が収束したことにより売上原価が大幅に減少した結果、9,905百万円（同8.3%増）と大幅に増益となりました。

営業利益については、売上総利益の増益に加えて、人件費や外注費の減少を主因とする販売費及び一般管理費（販管費）の抑制により、1,052百万円（前年同期は18百万円の損失）と大幅に増益となりました。

経常利益については、営業利益の増益に加えて、持分法適用関連会社の株式会社昭文社ホールディングスにおいて特別利益（固定資産売却益）を計上したことを主因に持分法による投資利益510百万円（前年同期は持分法投資利益174百万円）を計上したことにより、1,518百万円（前年同期比711.3%増）と大幅増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の増益に加えて、特別利益が還付消費税等により前年同期に比べて大幅に増加したこと等により、1,683百万円（前年同期は326百万円の損失）と大幅増益となりました。

#### 連結業績(2023年10月1日～2024年3月31日)

	2024年9月期 第2四半期	2023年9月期 第2四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	13,517	13,631	△113	△0.8
売上原価	3,612	4,481	△868	△19.4
売上総利益	9,905	9,150	+755	+8.3
販管費	8,852	9,168	△315	△3.4
営業利益（△は損失）	1,052	△18	+1,071	—
経常利益	1,518	187	+1,331	+711.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益（△は損失）	1,683	△326	+2,009	—

#### 販管費内訳(2023年10月1日～2024年3月31日)

	2024年9月期 第2四半期	2023年9月期 第2四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	8,852	9,168	△315	△3.4
広告宣伝費	1,301	1,016	+284	+28.0
人件費	3,593	3,947	△354	△9.0
支払手数料	1,416	1,491	△75	△5.1
外注費	909	1,059	△150	△14.2
減価償却費	652	591	+61	+10.4
その他	980	1,062	△81	△7.7

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

### ① コンテンツ事業

コンテンツ事業には、BtoC型の月額課金サービス（女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』と医師相談サービス『カラダメディカ』は除く）のほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供するオリジナルコミック事業等が属しています。

同事業の有料会員数は310万人（2023年9月末比3万人減）となりました。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大が続いているため、有料会員数はほぼ横ばいで推移しています。

売上高については、前年同期に連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおいてスポット計上した動画販売の反動があり、8,427百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

営業利益については、『AdGuard』の入会促進に伴う広告宣伝費が増加したことにより、2,261百万円（同19.1%減）となりました。

### ② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、母子手帳アプリ、子育てDX等）が属しています。

同事業の月額有料会員数は53万人（2023年9月末比2万人減）となりました。また、調剤薬局での導入意欲が高いクラウド薬歴の導入店舗数の拡大に注力した結果、2024年3月末の同店舗数は2,090（2023年9月末比297増）となりました。

売上高は、クラウド薬歴および子育てDX等の売上高が伸長したことにより2,615百万円（前年同期比19.1%増）となりました。営業利益については、増収効果と費用抑制効果により、217百万円（前年同期は219百万円の損失）と大幅増益となりました。

### ③ 学校DX事業

学校DX事業には、連結子会社のモチベーションワークス株式会社が学校法人向けに展開する学校DX事業が属しています。

売上高は、2023年4月からのクラウド型校務支援システム『BLEND』の導入学校数は541校（2022年4月比201校増）となり、月額利用料収入が増加したことにより521百万円（前年同期比68.6%増）となりました。営業損失については、売上高の大幅増加とともに、開発費の抑制効果による外注費の削減により、161百万円の損失（前年同期は461百万円の損失）と赤字額が大幅に縮小しました。

### ④ その他事業

その他事業には、BtoB型の連結子会社のAutomagi株式会社で展開するAI事業、当社における法人向けDX支援事業やソリューション事業等が属しています。

売上高は、AI事業および法人向けDX支援事業の受注が拡大したことにより2,756百万円（前年同期比14.0%増）となりました。営業損失については、法人向けDX支援事業の赤字案件が収束したことによる売上原価の減少等により、31百万円の損失（前年同期は807百万円の損失）と赤字額が大幅に縮小しました。

## （2）財政状態に関する説明

### ① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は29,274百万円となり、2023年9月末対比119百万円増加しました。

資産の部については、流動資産では現金及び預金の減少を主因に145百万円減少し、固定資産ではのれん、顧客関連資産が減少しましたが、投資有価証券が増加したことを主因に264百万円増加しました。

負債の部については、流動負債では主に未払法人税等および契約負債が減少したことを主因に798百万円減少し、固定負債では主に長期借入金が増加したことにより303百万円減少しました。

純資産の部については、配当金の支払いがありました。親会社株主に帰属する四半期純利益として1,683百万円を計上したことにより1,221百万円増加しました。

## ② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末の現金及び現金同等物は13,426百万円となり、2023年9月末対比294百万円の減少となりました。当期における各キャッシュ・フローの状況および要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上等により1,241百万円の資金流入（前年同期は2,105百万円の資金流入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産（主にソフトウェア）の取得による支出等により609百万円の資金流出（前年同期は616百万円の資金流出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや長期借入金の返済による支出等により928百万円の資金流出（前年同期は798百万円の資金流出）となりました。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期 第2四半期	1,241	△609	△928	13,426
2023年9月期 第2四半期	2,105	△616	△798	12,763
2023年9月期	4,764	△1,349	△1,784	13,720

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績拡大の牽引役として期待できるヘルスケア事業のさらなる売上拡大および黒字化に注力するとともに、コンテンツ事業ではセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大やオリジナルコミック事業の拡大に取り組んでいきます。

また、当社子会社のモチベーションワークス株式会社にて積極展開する学校DX事業の拡大にも注力していきます。同社が提供するクラウド型校務支援システム『BLEND』に対する受注の引き合いが強くなり、2024年4月からの導入学校数は755校（2023年4月比234校増）となりました。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、BtoC型に比べてお客様と長期間にわたり取引関係を構築することにより安定的なストック型ビジネスになり得るため、売上成長を実現できるよう様々な展開を実施してまいります。

特に調剤薬局での導入意欲が高いクラウド薬歴については、ヘルスケア事業の持続的な売上成長に寄与できることから、協業先である株式会社メディパルホールディングスとの連携強化を行うことを通じて、導入店舗数をさらに拡大させていきます。

また、母子手帳アプリ『母子モ』が導入されている自治体を中心に子育て関連サービスを拡充することにより、そして自治体、病院、住民のデジタル連携の実現を通じた子育てDX『母子モ』プラットフォーム戦略の推進を行うことにより、中期的に利益貢献できるように取り組んでいきます。

### 【業績予想数値の前提】

当社グループにおける未確定な新規事業や蓋然性の低いM&Aの影響等は考慮しておらず、業績予想の数値に織り込んでいません。今後、見通しと業績予想との間に乖離が生じ、開示すべき事象が生じた場合には速やかに開示します。

### 2024年9月期 通期 連結業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

	(百万円)	前期比 (%)
売上高	27,000	+0.8
営業利益	1,800	+503.2
経常利益	2,250	+390.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,750	+132.3

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,720,915	13,426,899
受取手形、売掛金及び契約資産	4,197,136	4,518,781
その他	1,056,294	883,585
貸倒引当金	△33,941	△34,158
流動資産合計	18,940,404	18,795,108
固定資産		
有形固定資産	213,711	203,876
無形固定資産		
ソフトウェア	1,894,135	1,956,812
のれん	240,012	105,898
顧客関連資産	491,400	280,800
その他	230,614	258,834
無形固定資産合計	2,856,162	2,602,344
投資その他の資産		
投資有価証券	4,081,380	4,593,511
敷金及び保証金	305,268	297,914
繰延税金資産	2,658,854	2,723,680
その他	110,361	68,949
貸倒引当金	△10,704	△10,704
投資その他の資産合計	7,145,160	7,673,350
固定資産合計	10,215,035	10,479,572
資産合計	29,155,439	29,274,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,023,077	1,018,497
1年内返済予定の長期借入金	747,600	740,460
未払金	1,279,759	1,406,298
未払法人税等	637,619	362,921
契約負債	2,567,914	2,137,353
その他	1,074,790	867,106
流動負債合計	7,330,762	6,532,637
固定負債		
長期借入金	2,431,250	2,062,500
退職給付に係る負債	1,786,153	1,837,060
その他	23,449	37,509
固定負債合計	4,240,853	3,937,069
負債合計	11,571,615	10,469,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,677	5,249,088
資本剰余金	6,485,816	6,315,644
利益剰余金	5,143,458	6,386,218
自己株式	△3,230,813	△3,207,144
株主資本合計	13,631,139	14,743,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,132	197,293
為替換算調整勘定	97,848	100,151
退職給付に係る調整累計額	59,594	56,325
その他の包括利益累計額合計	322,575	353,770
新株予約権	59,147	57,225
非支配株主持分	3,570,962	3,650,171
純資産合計	17,583,824	18,804,974
負債純資産合計	29,155,439	29,274,681



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	13,631,385	13,517,857
売上原価	4,481,114	3,612,580
売上総利益	9,150,271	9,905,277
販売費及び一般管理費	9,168,836	8,852,839
営業利益又は営業損失(△)	△18,565	1,052,437
営業外収益		
受取利息	52	50
為替差益	—	11,556
持分法による投資利益	174,973	510,833
受取補償金	34,759	—
その他	25,625	9,613
営業外収益合計	235,409	532,054
営業外費用		
支払利息	6,135	4,628
為替差損	7,734	—
その他の投資損失	—	48,395
支払手数料	7,903	—
その他	7,936	13,266
営業外費用合計	29,710	66,290
経常利益	187,134	1,518,201
特別利益		
固定資産売却益	—	278
持分変動利益	139,531	—
還付消費税等	—	786,107
特別利益合計	139,531	786,386
特別損失		
固定資産除却損	4,105	8,049
減損損失	10,546	39,446
投資有価証券売却損	13,450	—
投資有価証券評価損	7,148	31,672
特別損失合計	35,251	79,169
税金等調整前四半期純利益	291,414	2,225,418
法人税、住民税及び事業税	703,393	545,836
法人税等調整額	△10,956	△63,995
法人税等合計	692,436	481,841
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△401,022	1,743,577
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△74,862	60,354
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△326,160	1,683,223

## 四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△401,022	1,743,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,857	1,321
為替換算調整勘定	△24,879	1,964
退職給付に係る調整額	1,348	△3,268
持分法適用会社に対する持分相当額	35,348	31,177
その他の包括利益合計	9,960	31,194
四半期包括利益	△391,062	1,774,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△316,199	1,714,417
非支配株主に係る四半期包括利益	△74,862	60,354

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	291,414	2,225,418
減価償却費	672,354	732,111
減損損失	10,546	39,446
のれん償却額	136,177	98,532
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,282	216
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	74,142	50,906
受取利息及び受取配当金	△52	△50
支払利息	6,135	4,628
持分法による投資損益 (△は益)	△174,973	△510,833
持分変動損益 (△は益)	△139,531	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△278
固定資産除却損	4,105	8,049
投資有価証券評価損益 (△は益)	7,148	31,672
投資有価証券売却損益 (△は益)	13,450	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△222,549	△321,209
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,174	△4,946
未払金の増減額 (△は減少)	△51,997	123,672
未払又は未収消費税等の増減額	1,057,174	△100,597
その他	△74,319	△333,997
小計	1,656,119	2,042,742
利息及び配当金の受取額	52	50
利息の支払額	△6,135	△4,628
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	455,911	△796,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,105,948	1,241,557
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△36,079	△25,066
有形固定資産の売却による収入	—	278
無形固定資産の取得による支出	△583,419	△586,157
投資有価証券の売却による収入	1,504	—
その他	1,629	1,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	△616,364	△609,226

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	60,000	—
短期借入金の返済による支出	△50,975	—
長期借入金の返済による支出	△375,890	△375,890
株式の発行による収入	27,132	32,149
非支配株主への払戻による支出	△2,940	△980
配当金の支払額	△440,095	△440,462
非支配株主への配当金の支払額	△2,940	△980
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△12,500	△142,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△798,208	△928,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,385	1,916
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	665,988	△294,016
現金及び現金同等物の期首残高	12,097,658	13,720,915
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,763,647	13,426,899

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	9,371,278	2,165,938	309,264	1,368,068	13,214,550	—	13,214,550
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	42,424	24,212	—	350,197	416,834	—	416,834
顧客との契約から 生じる収益	9,413,703	2,190,151	309,264	1,718,266	13,631,385	—	13,631,385
外部顧客への売上高	9,413,703	2,190,151	309,264	1,718,266	13,631,385	—	13,631,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	88,987	5,431	—	698,911	793,330	△793,330	—
計	9,502,690	2,195,582	309,264	2,417,178	14,424,715	△793,330	13,631,385
セグメント利益 又は損失(△)	2,794,644	△219,897	△461,465	△807,100	1,306,180	△1,324,745	△18,565

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,324,745千円には、セグメント間取引消去9,178千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,333,924千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
減損損失	—	1,992	—	8,554	10,546	—	10,546

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	8,314,600	2,585,798	475,666	1,819,084	13,195,150	—	13,195,150
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	36,363	24,999	45,760	215,583	322,707	—	322,707
顧客との契約から 生じる収益	8,350,964	2,610,798	521,426	2,034,668	13,517,857	—	13,517,857
外部顧客への売上高	8,350,964	2,610,798	521,426	2,034,668	13,517,857	—	13,517,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	76,492	4,481	—	721,740	802,714	△802,714	—
計	8,427,456	2,615,279	521,426	2,756,408	14,320,571	△802,714	13,517,857
セグメント利益 又は損失(△)	2,261,485	217,397	△161,508	△31,865	2,285,508	△1,233,071	1,052,437

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,233,071千円には、セグメント間取引消去3,826千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,236,897千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
減損損失	39,446	—	—	—	—	—	39,446